



健康で豊かな国民生活を保健医療福祉情報システムが支えます

2023年度 業務報告会

# 相互運用性委員会 活動報告

2024年2月13日  
相互運用性委員会  
委員長 木村 雅彦

- 今年度の事業計画
- 今年度の活動成果
  - (1)JAHIS標準類の策定
  - (2)実装システムの検証
  - (3)標準化の普及推進
- 来年度の実業計画

## (1) JAHIS標準類の策定

- データ交換規約の共通課題に取り組み、その結果をデータ交換規約(共通編)や必要に応じて個別編に反映する。(オーダ付帯情報の共通化など)
- 既存の標準類については、制定後3年経過を目途に改版を行い、より実践的なものにすべく機能拡張を図っていく。(処方、病名など)
- これまで十分な検討がされていない新たなテーマや技術標準について、HL7 FHIRなども活用した検討を行う。(部門からの電子カルテデータの参照など)

## (2) 実装システムの検証

- 過去16年間行い、昨年度実施できなかったJAHISデータ互換性実証実験を再開し、HL7 FHIRを使用したテーマに取り組む(診療情報提供書など)
- 各種ツールの整備やテーマの拡大も図る。(HL7 FHIR対応など)

## (3) 標準化の普及推進

- 他の標準化プロジェクトや団体で策定された標準類との整合を図りながら、関係者と密接に連携して普及活動を行う。セミナー(講習会)等も企画する。
- IHE WGでの情報共有や勉強会、RSNA、IHE国際会議等への参加を継続する。
- 今年度内に次世代データ交換技術WGを発足し、HL7 FHIRをはじめとする次世代データ交換技術についての情報共有や意見交換を行う。

## ① 注射データ交換規約 Ver.2.2C

制定後3年を経過したため、データ交換規約(共通編)Ver.1.3への対応、適合性宣言書の採用、HL7 V2.5日本語見直し版への対応、コード表へのOIDの付番、外部出版社による原案の校正の実施、などを行い、2024年1月にJAHIS標準として制定済

## ～ 策定作業中のJAHIS標準類 ～

## ② 病名情報データ交換規約 Ver.3.2C

制定後3年以上が経過したため、改版作業を実施中。注射データ交換規約と同様の作業の他、病名情報の照会についてはHL7 FHIRの採用も検討する予定

→ 予定していた処方、病名のうち、処方の改版作業には着手できず関係者が重なっており、順番に作業せざるを得ない

- メッセージ交換専門委員会(NEC中田専門委員長)
  - ◆ データ交換規約の共通課題への取り組みとして、**オーダー付帯情報の共通化**の検討を継続中
  - ◆ 次の共通編の改版で盛り込むべき付帯情報の整理はほぼ完了
  - ◆ 電子カルテ、部門間でのHL7 FHIRの活用について検討を開始
- IHE WG(キヤノンメディカルシステムズ塩川リーダ)
  - ◆ **IHE Internationalの投票案件**の対応(4件)
    - 1) International Board At Large Member
    - 2) IHE Radiology Call for Proposals & Whitepapers
    - 3) CP ballot announcement 2023B
    - 4) IHE Radiology 2024 Domain Co-Chairs and Representative to IHE International Board Election
  - ◆ IHEの各ドメインでの活動状況についての**情報共有**や各ドメインに関する**勉強会**の実施
  - ◆ **RSNAの視察、IHE国際会議、DICOM DSC**への参加とフィードバック

- 次世代データ交換技術WG (FDX宮川リーダ) (今年度新設)
  - ◆ 目的: 次世代のデータ交換技術として期待されるHL7 FHIRに関する情報交換/知識共有を行い、会員企業の知識・スキルの底上げを行う
  - ◆ 参加者: 35社 / 59名 (2023年11月現在)
  - ◆ 主な活動内容:
    - ー JAMIのHL7 FHIR日本実装検討WGの活動内容の共有
    - ー HL7 FHIRや政府の医療DX関係の最新動向の共有
    - ー WG内での各種勉強会 (下記)
    - ー お悩み相談会
  - ◆ これまで行った勉強会のテーマ:
    - ー HL7 FHIRの概要
    - ー 実装ガイドの読み方
    - ー Java, C#等のプログラミング言語での実装方法
    - ー JP Coreの各プロファイルの解説
  - ◆ 第43回医療情報学連合大会チュートリアルA-6 (第87回HL7セミナー) 「次世代データ交換技術WGの活動内容ご紹介」 (FDX宮川リーダ)

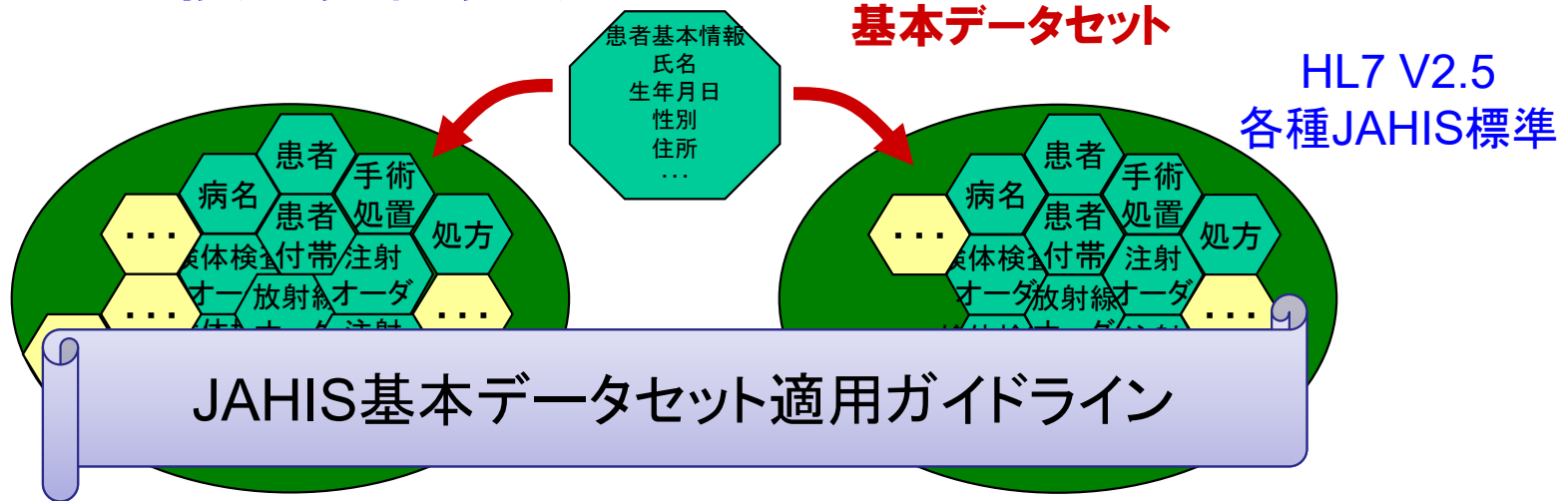
～ 執筆時点で実施予定 ～

17年目

## JAHISデータ互換性実証実験2023

- 実施期間: 2024年2月19日(月)～ 22日(木)
- 実施場所: 完全リモート開催
- 実施テーマ: ①患者情報(基本)、②診療情報提供書
- トピック:
  - (1) JP Coreに基づくPatientリソースのエクスポート・インポート
  - (2) 診療情報提供書HL7 FHIR記述仕様に基づくBundleリソースのエクスポート
- 参加予定会社:
  - (株)ソフトウェア・サービス、日本電気(株)、日本アイ・ビー・エム(株)、富士通Japan(株)
- レポート掲載予定:
  - トップ » 活動と報告 » 実証実験・ツール » 実施結果 » 2023年実施結果

### JAHISデータ互換性実証実験とは



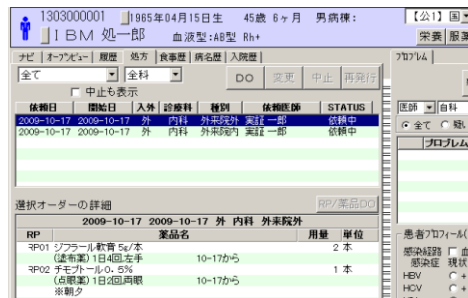
### JAHIS基本データセット適用ガイドライン

A社



エクスポート

データの抽出



HL7メッセージ

```

RXE||23022097^ジブラール軟膏 5g/本
^99ZL3^106238001^ジブラール軟膏 0.05%
^HOT|2||08^本^99ZL4^HON^本^99SM9|209^塗布薬
^99ZL8^OIT^軟膏^99SM9|||2|08^本^99ZL4^HON^
本^99SM9...
TQ1|||820926_____4_00&(塗布薬) 1日4回,左手
&99ZL2~QID&1日4回&HL70335|||20091017
...
    
```

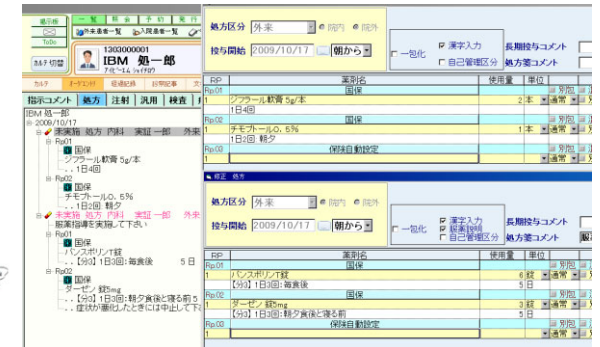
GLに準拠した正しいメッセージか？

正しく抽出できたか？

B社



データの取込・表示

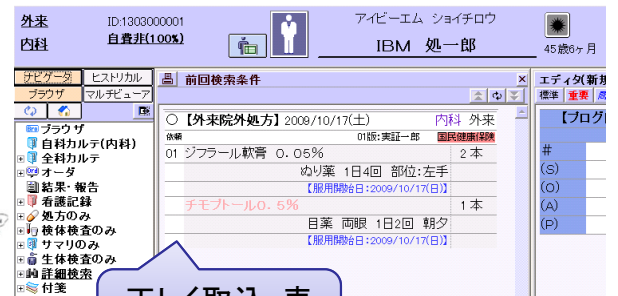


インポート

C社

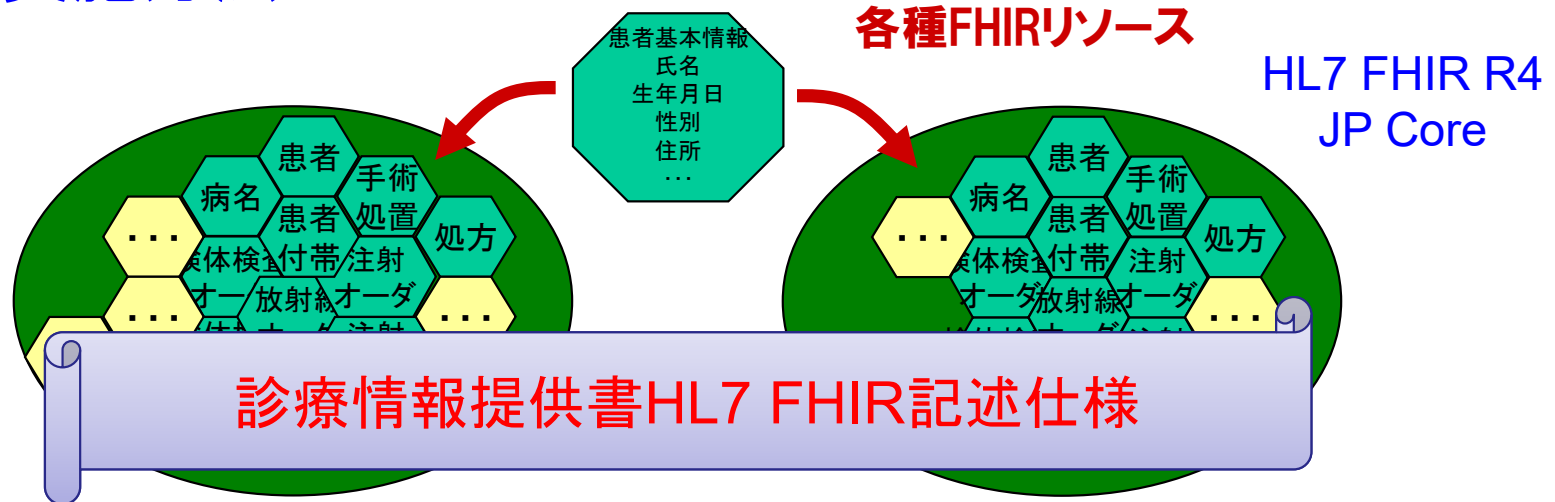


正しく取込・表示できたか？





### 今年度の実施方法



### 診療情報提供書HL7 FHIR記述仕様

#### A社



#### エクスポート

#### データの抽出



#### FHIRリソース/ドキュメント

```
{
  "resourceType": "Patient",
  "identifier": [ {
    "system":
    "urn:oid:1.2.392.100495.20.3.51.193,
    "value": "1301000001"
  } ],
  "active": true,
  "name": {
    "text": "IBM 患一郎",
    "family": "IBM",
    "given": [ "患一郎" ]
  }
}
```

記述仕様に準拠した正しいメッセージか？

正しく抽出できたか？

#### B社



#### データの取込・表示

#### インポート

#### C社



#### 患者基本情報のみ



正しく取込・表示できたか？

- ① 日本医療情報学会(標準策定・維持管理部会)、日本HL7協会、日本IHE協会等との連携や外部の標準化活動への委員派遣
- SS-MIX2の仕様書やIHE-JのTF基本仕様へのデータ交換規約の採用
  - JAMI NeXEHRs課題研究会 HL7 FHIR日本実装検討WG
  - 経産省事業「ヘルス&ケアデータプロセスモデル」国際規格開発委員会
  - 厚労科研「ヘルスケアプロセス管理モデルの策定と国際標準提案」国際標準開発WG
  - 厚労省補助金「透析情報標準規格(FHIR記述仕様)」の校閲
  - MEDIS-DC「口腔診査情報標準コード仕様メンテナンス委員会」
- ② JAHISデータ互換性実証実験の成果や各種ツール類のHPでの公開
- 1) JAHISデータ互換性実証実験の報告(2010~2021)
  - 2) HL7メッセージ作成支援ツール(Ver.1.2~Ver.1.10)
  - 3) HL7辞書ユーティリティ(Ver.1.0~Ver.1.3)
- 公開場所: トップ » 活動と報告 » 実証実験・ツール » ...

### ③「薬剤に関する医療情報セミナー」の開催(11年連続)

日時:2024年2月8日(金) 14:00~17:00

場所:WebEx Eventsを使用したオンラインセミナー

講師:土屋 文人 先生(元国際医療福祉大学 薬学部 特任教授)

池田 和之 先生(奈良県立医科大学附属病院 薬剤部)

題名:薬剤部門に関する最近の話題

—変わりゆく薬剤師業務と情報システムの関わり—

### ④ その他の対外活動

#### ◆ 第43回医療情報学連合大会:

共同企画10:保健医療福祉情報システム工業会/日本病院薬剤師会  
「電子処方箋をめぐる諸課題は解決したか—これから運用を始めるために—」共同座長(11/25)

#### ◆ 第43回医療情報学連合大会チュートリアルA-6(第87回HL7セミナー)

「次世代データ交換技術WGの活動内容ご紹介」講演(11/22)(再掲)

#### ◆ IHE WGやHIS-RIS WGの立場から、RSNAの視察およびその中で行われたIHE国際会議、DICOM DSCへの参加(11月末)

～ 今年度同様、以下のような活動に取り組む予定 ～

### (1) JAHIS標準類の策定

- データ交換規約の共通的な課題に取り組む。(HL7 FHIRによるデータ交換)
- 既存の標準類については、制定後3年経過を目途に改版を行う。  
(病名情報、処方情報)
- 既存の標準類や新たなテーマで、HL7 FHIRも活用した検討を行う。

### (2) 実装システムの検証

- 過去17年間行ってきたJAHISデータ互換性実証実験を継続し、HL7 FHIRベースのテーマ(電子カルテ情報共有サービスなど)に取り組む。
- 各種ツールの整備やテーマの拡大、HL7 FHIR対応も図る。

### (3) 標準化の普及推進

- 他の標準化プロジェクトや団体で策定された標準類との整合を図りながら、関係者と密接に連携して普及活動を行う。セミナー(講習会)等も企画する。
- IHE WGでの情報共有や勉強会、RSNA、IHE国際会議等への参加を継続する。
- 新たに発足した次世代データ交換技術WGにて、HL7 FHIR等についての情報共有や意見交換を行う。



健康で豊かな国民生活を保健医療福祉情報システムが支えます

ご清聴ありがとうございました